

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|--------|---|--------|-------|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 44,236 | △12.3 | △1,394 | — | △1,203 | — | △5,312 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | 50,465 | △3.2 | △54 | — | 886 | △19.1 | △1,382 | — |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △6,258百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △2,975百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | △125.27 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | △32.59 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 107,830 | 95,618 | 79.4 |
| 2019年3月期 | 119,851 | 106,089 | 79.9 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 85,610百万円 2019年3月期 95,778百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 14.00 | — | 74.00 | 88.00 |
| 2020年3月期 | — | 14.00 | — | — | — |
| 2020年3月期（予想） | — | — | — | 14.00 | 28.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|--------|---|--------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 58,000 | △13.5 | △2,000 | — | △2,000 | — | △7,600 | — | △179.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期3Q | 42,426,739株 | 2019年3月期 | 43,886,739株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 8,198株 | 2019年3月期 | 1,467,996株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期3Q | 42,408,035株 | 2019年3月期3Q | 42,419,255株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 増減率 (%) |
|-------------------------|------------------|------------------|------------|
| 売上高 | 50,465 | 44,236 | △12.3 |
| 営業損失(△) | △54 | △1,394 | — |
| 経常利益(△損失) | 886 | △1,203 | — |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△) | △1,382 | △5,312 | — |
| 米ドル平均レート | 111円/\$ | 109円/\$ | △2円 |

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境は改善が続いていますが、自然災害の影響や消費増税に伴う駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込み、輸出の低迷による製造業の収益悪化等により、停滞感の強い状況が続いています。

世界経済は、米国では個人消費の堅調さに支えられた成長が続いていますが、中国においては米中貿易摩擦の影響により景気が減速しており、また英国のEU離脱や中東情勢の行方による影響など、全体としては不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(2017年度～2019年度)に基づき、中長期的な視点での経営基盤の強化と収益力の向上に努めましたが、市場悪化の影響を受け業績は低迷しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は442億3千6百万円(前年同期比12.3%減)となりました。このうち海外売上高は261億9千1百万円(前年同期比15.5%減)となり、国内売上高は180億4千4百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

収益面では、営業損失は13億9千4百万円(前年同期は営業損失5千4百万円)となりました。また、経常損失は12億3百万円(前年同期は経常利益8億8千6百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、減損損失を計上したことから53億1千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13億8千2百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

| セグメント名称 | 前第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高 | 当第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高 | 増減率 (%) |
|----------|---------------------------|---------------------------|------------|
| 電子デバイス関連 | 25,334 | 21,307 | △15.9 |
| 生産器材 | 25,130 | 22,928 | △8.8 |
| 合計 | 50,465 | 44,236 | △12.3 |

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

< 蛍光表示管の売上高の状況 >

全ての用途で低迷し、売上げは前年同期を下回りました。

<有機ELディスプレイの売上高の状況>

国内の車載用途は低迷しましたが、海外の映像、通信機用途が大幅に増加したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<タッチセンサーの売上高の状況>

国内の車載用途は好調でしたが、構成比の高い海外の車載用途が大幅に減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<複合モジュールの売上高の状況>

国内の計測器用途は大幅に増加しましたが、海外のPOS用途が大幅に減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<産業用ラジコン機器の売上高の状況>

農業関連向けは好調でしたが、トラッククレーン向けは低調に推移しました。なお、セントラル電子制御株式会社をグループ化したことにより、売上げは前年同期を上回りました。

<ホビー用ラジコン機器の売上高の状況>

欧州での販売は堅調に推移しましたが、国内および北米での販売が低迷したため、売上げは前年同期を下回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器)

<国内売上高の状況>

国内市場は、モールドおよびプレス金型用器材の需要が引き続き低迷し、成形合理化機器も景気悪化の影響を受け不振であったことから、売上げは前年同期を下回りました。

<海外売上高の状況>

主力の韓国では、自動車向けが好調でしたが、為替による影響を受け売上げは前年同期を下回りました。また、中国市場についても低迷したことから、海外全体の売上げは前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ120億2千万円減少し、1,078億3千万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べ15億5千万円減少し、122億1千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ104億7千万円減少し、956億1千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月8日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日(2020年2月7日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 46,867 | 43,343 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,467 | 15,557 |
| 有価証券 | 1,313 | 1,094 |
| 商品及び製品 | 5,399 | 5,269 |
| 仕掛品 | 3,047 | 2,667 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,200 | 7,588 |
| その他 | 1,793 | 1,669 |
| 貸倒引当金 | △424 | △548 |
| 流動資産合計 | 84,664 | 76,641 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,709 | 6,905 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,837 | 3,037 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 393 | 351 |
| 土地 | 9,579 | 8,319 |
| リース資産(純額) | 24 | 0 |
| 建設仮勘定 | 152 | 60 |
| その他 | — | 443 |
| 有形固定資産合計 | 21,698 | 19,118 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,116 | 128 |
| その他 | 1,066 | 643 |
| 無形固定資産合計 | 2,183 | 771 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,508 | 9,060 |
| その他 | 2,405 | 2,818 |
| 貸倒引当金 | △608 | △580 |
| 投資その他の資産合計 | 11,305 | 11,298 |
| 固定資産合計 | 35,187 | 31,189 |
| 資産合計 | 119,851 | 107,830 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,808 | 2,551 |
| 短期借入金 | 810 | 799 |
| 電子記録債務 | 2,020 | 727 |
| 未払費用 | 2,453 | 2,288 |
| 未払法人税等 | 225 | 198 |
| 賞与引当金 | 851 | 689 |
| その他 | 1,264 | 1,762 |
| 流動負債合計 | 11,433 | 9,018 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 49 | 47 |
| 繰延税金負債 | 937 | 1,182 |
| 役員退職慰労引当金 | 64 | 75 |
| 退職給付に係る負債 | 1,023 | 1,181 |
| その他 | 255 | 707 |
| 固定負債合計 | 2,329 | 3,193 |
| 負債合計 | 13,762 | 12,211 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 22,558 | 22,558 |
| 資本剰余金 | 21,560 | 21,560 |
| 利益剰余金 | 55,845 | 43,837 |
| 自己株式 | △2,736 | △15 |
| 株主資本合計 | 97,227 | 87,941 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 614 | 979 |
| 為替換算調整勘定 | △3,077 | △3,940 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,013 | 630 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,448 | △2,330 |
| 非支配株主持分 | 10,310 | 10,007 |
| 純資産合計 | 106,089 | 95,618 |
| 負債純資産合計 | 119,851 | 107,830 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 50,465 | 44,236 |
| 売上原価 | 40,481 | 36,071 |
| 売上総利益 | 9,983 | 8,164 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,037 | 9,559 |
| 営業損失(△) | △54 | △1,394 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 274 | 305 |
| 受取配当金 | 226 | 208 |
| 為替差益 | 369 | — |
| その他 | 165 | 119 |
| 営業外収益合計 | 1,036 | 632 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | — | 326 |
| 固定資産解体撤去費用 | 35 | 37 |
| 補助金返還損 | 19 | — |
| その他 | 41 | 77 |
| 営業外費用合計 | 96 | 441 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 886 | △1,203 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 608 | 239 |
| 投資有価証券売却益 | — | 107 |
| 子会社清算益 | 88 | — |
| 特別利益合計 | 696 | 347 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 26 | 59 |
| 固定資産廃棄損 | 27 | 4 |
| 投資有価証券評価損 | — | 229 |
| 減損損失 | 2,284 | 3,656 |
| 建物解体撤去費用 | 119 | — |
| 特別損失合計 | 2,457 | 3,949 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △874 | △4,805 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 214 | 329 |
| 法人税等調整額 | 10 | △73 |
| 法人税等合計 | 224 | 255 |
| 四半期純損失(△) | △1,099 | △5,061 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 282 | 250 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △1,382 | △5,312 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △1,099 | △5,061 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,118 | 312 |
| 為替換算調整勘定 | 115 | △1,131 |
| 退職給付に係る調整額 | 126 | △378 |
| その他の包括利益合計 | △1,875 | △1,196 |
| 四半期包括利益 | △2,975 | △6,258 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △3,185 | △6,194 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 209 | △63 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月21日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,460,000株の消却を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が27億2千1百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が27億2千1百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が215億6千万円、利益剰余金が438億3千7百万円、自己株式が1千5百万円となりました。

(会計方針の変更)

「リース」(IFRS第16号)の適用

第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社(米国基準を採用する米国子会社を除く)において、IFRS第16号「リース」を適用しています。この新しい基準により、リースの借り手において、原則として全てのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しています。なお、この適用による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 電子デバイス 関連 | 生産器材 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,334 | 25,130 | 50,465 | — | 50,465 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5 | 0 | 5 | △5 | — |
| 計 | 25,339 | 25,130 | 50,470 | △5 | 50,465 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △925 | 871 | △54 | △0 | △54 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントの蛍光表示管において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,218百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 電子デバイス 関連 | 生産器材 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,307 | 22,928 | 44,236 | — | 44,236 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9 | 4 | 14 | △14 | — |
| 計 | 21,317 | 22,933 | 44,250 | △14 | 44,236 |
| セグメント損失(△) | △1,358 | △36 | △1,394 | △0 | △1,394 |

(注)1. セグメント損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

生産器材セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しています。当該事象によるのれんの減少額は885百万円です。

(固定資産に係る重要な減損損失)

生産器材セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,091百万円です。